

加齢黄斑変性診療におけるコロナ禍の影響の検証

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としまして
ないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	加齢黄斑変性診療におけるコロナ禍の影響の検証
研究期間	2021年 4月倫理審査承認日～2025年12月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に眼科を受診され、加齢黄斑変性の症状の方 2017年 1月 1日～2021年 3月31日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	（研究目的、意義） 加齢黄斑変性は長期にわたって、経過観察・加療が必要な疾患です。特に発症早期や活動期には、定期的に病状観察を行い適切なタイミングで治療を継続することが、視力を守るためには必要となります。しかし、コロナ禍のために病院への受診を躊躇される場合もあり、そのことが患者さんの不利益になった可能性もあります。 本研究では、加齢黄斑変性診療におけるコロナ禍の影響を調査し、今後の対策への一助とします。 （研究の方法） 当院ならびに日本網膜疾患研究グループに所属する病院に、2017年1月1日から2021年3月31日に受診され、各施設で治療

を開始された加齢黄斑変性患者さんが対象です。カルテ情報を通じて、年齢、性別、来院・治療のタイミング、治療開始時、治療開始後3か月目、1年、2年、3年目までの1年ごとの通院回数、治療内容及び回数、視力変化を検討します。加齢黄斑変性は時に両眼に発症しますので、両眼の情報を収集します。

（外部への資料・情報の提供）

本研究は多施設での情報を総合して検証しますが、当院が研究代表機関となりますので、外部への試料・情報の提供はありません。

（研究組織）

<研究代表者>

兵庫医科大学 五味 文

<共同研究施設>

日本網膜疾患研究会（J-CREST）に所属する以下の施設（研究責任者）（順不同、敬称略）

市立札幌病院（今泉 寛子、青木 修一郎）

徳島大学（三田村 佳典）

奈良県立医科大学（辻中 大生）

鹿児島大学（寺崎 寛人）

防衛医科大学（竹内 大）

三重大学（松原 央）

滋賀医科大学（澤田 智子）

信州大学（平野 隆雄・家里 康弘）

東京医科大学八王子医療センター（安田 佳奈子・新留 絵里菜）

聖路加国際病院（小沢 洋子）

山口大学（湧田 真紀子・木村 和博）

久留米大学（春田 雅俊・加藤 喜大）

日本大学板橋病院（横田 陽匡）

筑波大学（村上 智哉）

ツカザキ病院（山内 知房・永里 大祐）

神戸大学（三木 明子）

（個人情報取り扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人

が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 眼科
五味 文（研究責任者）
小椋 有貴（研究担当者）

TEL | （平日 10 : 00～16 : 00） 0798-45-6462